

## 令和 4 年 6 月の市民の声（全 7 通のうち 5 通）

### ◇ゴミ収集カレンダーについて

#### 【ご意見・ご提案など】

ゴミ収集カレンダーを昨年の色で分けるわかりやすいカレンダーに戻して欲しいです。

今年で 72 歳になりますが、カレンダーの色が薄い色で絵になっているので年寄りには分かりづらいです。

来年は昨年のような、ゴミ収集がわかりやすい色で分ける様式に戻して欲しいです。見づらくて仕方ありません。

検討宜しくお願いします。

（令和 4 年 6 月 2 日）

#### 【お返事】

廃棄物対策課では、ごみカレンダーの作成に関して市民の皆さんがより分かりやすくごみの分別ができるよう、毎年検討を重ねているところです。

今年度は色の判別が苦手な人に配慮し、ごみの種類をイラストで表示することで、分別しやすくなるよう作成しました。

しかしながら、例年より色が薄くて見づらいといった声がいくつか寄せられています。いただいたご意見も参考に、今後もより見やすいごみカレンダーとなるように改善を検討してまいります。

この度はご意見をいただきありがとうございます。

（担当：廃棄物対策課）

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

## ◇子育て施策について

### 【ご意見・ご提案など】

明石市長のような施策を南魚沼市でもやる事は出来ませんか？

少子化を無くす答えは目の前に転がっていると思います。

今の日本は子供を産むにはリスクがあり過ぎます。

こんな施策が打てるのであれば例え将来南魚沼市を離れても、子供を育てる為にまた南魚沼市に戻ってきたり、他県から南魚沼市に移住してくる人もいると思います。

どんな事をやるにも最初にお金がかかるのは重々承知です。

マイナスになるかもしれません。ですが将来プラスになります。

子育てをするのにお金の心配が要らず、安心して生活が出来る市として新潟県で初めての市にしませんか？

(令和4年6月9日)

### 【お返事】

明石市が「子どもを核としたまちづくり」に取り組み、それが地域に好循環を生み、経済の活性化や人口の増加につながるということはマスコミ等でも取り上げられていることもあり、当市でも注目しています。

「子育てのしやすさに重点をおいた施策が地域経済に好循環を生む」という、その発想と実践する行動力は大いに参考となります。一方で、人口規模やさまざまな状況が異なることから、すべての市がすぐに同様の施策に取り組むことは困難であり、それぞれの市に合ったやり方で進めることが適切であると考えています。

市では3か年を期間とする総合計画を策定し、毎年度見直しを行いながら事業を進めています。子育てに関する施策についても、子育て世帯の負担の軽減や、より良い保育の実施が図られるよう、今後も取り組んでまいります。

以下に市独自の取り組みをお知らせします。

○子どもの医療費助成

これまで中学校卒業までとなっていた対象年齢を、令和3年4月からは、高校卒業までに延長しました。また、就学前の児童の医療費については当市でも無料としています。(小学生以上は、1回の受診につき530円までの窓口負担となっています。)

○保育料の多子軽減

令和4年4月から3人以上の子どもを育てる世帯への多子軽減として、第3子以降の児童については、保育料を半額としています。これまでの2割軽減から5割軽減へ拡充しました。

○妊産婦医療費助成

母子手帳の交付を受けている妊産婦の方へ、保険適用医療費の自己負担分を全額助成しています。助成方法も、これまでは妊産婦が、医療機関の窓口でいったん3割を自己負担し、負担分を市へ助成申請することで還付を受けていましたが、令和3年6月から窓口での自己負担が生じない支払い方法へ改善をしました。

○出産お祝い金

期間限定事業ですが「めぐちゃん祝い金」として、令和3年4月1日から令和8年3月31日の5年間に生まれた赤ちゃんの保護者へ、第1子12万円、第2子15万円、第3子以降20万円をお祝い金として支給し支援しています。

この度は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

(担当：子育て支援課)

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658

## ◇歩道の掃除について

### 【ご意見・ご提案など】

市道、県道の歩道の清掃（雑草、コケ等）は、どのように管理されているのでしょうか？

要望として年に1度くらい清掃してもらいたい。雑草があるとゴミもたまるし汚れる

車社会で歩くことが少なくなっていますが、たまに歩くと結構目立ちます、気分良く歩けるような歩道にしてもらいたい

（令和4年6月17日）

### 【お返事】

市で管理を行っている歩道は延長約67kmとなっており、これらすべてを定期的に清掃することは極めて困難であり、道路パトロールや地域の皆さんからの情報提供により、歩行の妨げになる雑草や堆積した土砂の除去などを随時実施しています。

ブロックに生えているような小さい雑草やコケ類などは、歩行の妨げにならない限り経過観察としていますが、具体的な場所をお知らせいただければ、現地を確認し、必要な対応を検討させていただきます。また、県道の歩道管理については、新潟県が同様の対応を行っています。

ご要望いただいた定期的な対応ができず、大変申し訳ありませんが、何卒ご理解をお願いいたします。

この度は貴重なご意見をいただきありがとうございました。

（担当：建設課）

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658

## ◇子供医療費、ほのぼの広場について

### 【ご意見・ご提案など】

- ① 近隣の他市は高校まで、受給者証により窓口負担ゼロです。南魚沼市はいつなるのでしょうか。
- ② ほのぼのも無駄に保育士さんなどを配置していると思います。せつかく保育士さんが常駐しているなら、もっと出来る事があると思います。  
保育士と税金の無駄遣いに感じます。  
例えば一時預かりをもっと気軽にお願いできるとか。  
他市の子供の施設には保育士さんは常駐してなさそうですが、他市の施設の利用者の方が多いのです。  
何がそうさせるのか原因を探ってください。

(令和4年6月21日)

### 【お返事】

- ① 南魚沼市の子ども医療費助成について

子どもの医療費助成制度は、当初、中学生までの医療費について、入院1日1,200円、通院1回530円を除いた自己負担分を県と市町村が半分ずつ助成する県内一律の制度でしたが、平成26年からは各市町村が独自の考えで制度を運用できるようになりました。現在、無料化・拡充などを特色として施策を実施している市町村もあります。

南魚沼市では、平成26年以降、医療機関を受診する機会が多い未就学児の医療費助成を段階的に拡充し、平成30年4月には医療費を無料としました。また、令和3年4月からは、対象年齢を18歳到達年度の末日までとし、子どもの医療費助成を拡充しました。

子どもの医療費を高校生まで無料としている市町村は、県内30市町村のうち、令和4年4月現在で4市町ありますが、南魚沼市の子どもの医療費助成については、関連するほかの施策との兼ね合いもあることから、慎重に検討してまいります。

- ② ほのぼの広場の保育士配置について

南魚沼市では子育て支援センターを設置し、子育て中の保護者に支援を行なっています。子育て支援センターは「ほのぼの広場」に拠点を置き、「ほのぼの広場」の運営を行うとともに、学習会や交流会の開催、子育てに関する悩みの相談、遊びの教室などの子育て支援センター事業のほか、ファミリーサポート事業、各保育園への支援なども行っています。子育てに精通する保育士を配置することで、子育て世帯に寄り添い、保護者が気軽に相談できる体制を整えています。

一方、「ほのぼの広場」では子育て支援センター業務を行っているため、近隣市の施設に比べて、利用対象としている子どもの年齢が低く、その分、利用者が少ないものと考えています。

子育て支援センターでは今後も、子育て世帯に対し、より良い支援ができるよう検討してまいります。また、ご希望の一時預かりなどのファミリーサポートセンター事業についてもより利用しやすくなるよう、制度の見直しを行ってまいります。

(担当：子育て支援課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

## ◇健診時受付前の対応について

### 【ご意見・ご提案など】

胃がん健診を受診。受診会場に受付時間前に到着したが、会場外に並んだ。外で待たせずに、整理券を配布するなどの対応を望む。

(令和4年6月27日)

### 【お返事】

この度は胃がん検診の受診の際、受付開始の5分前の開場となりましたこと、また当日は雨が降る中、会場の外でお待たせしてしまいましたこと、お詫びいたします。

ご意見いただいた整理券の配布につきましては、整理券を受け取った後に会場を離れたまま時間に戻られない場合、受付の順番が前後してしまうなどの懸念があります。今後は、会場の入口前に椅子を用意し、早く到着された方から順番に座っていただき、順番に受付のご案内をさせていただきます。

今後も、住民の皆さんに安心して検診を受けていただけるよう取り組んでまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

(担当：保健課)

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658